

ライムライト (1952)

LIMELIGHT

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 137分
初公開日 1953/02/18
公開情報 松竹洋画部
映倫 G
リバイバル 1974/03 [東和]

【キャッチコピー】

美しきバレリーナに よせる心を秘めて 舞台に散った道化の恋… 名優の至芸と 愛の名曲でうたい上げる 感動のチャップリン・シンフォニー (リバイバル時)

【解説】

人生への絶望から自殺を図った踊り子テリーを救った老道化師カルベロは、愛に溢れた笑顔をもって彼女を元気づけた。今の彼には、かつての栄光はなく、生活も楽ではなかったが、何故かこの少女を見捨てることはしのびなかったのだ。大切にしているバイオリンさえも質に入れ、彼女の回復を祈るカルベロ。そして彼はそれまで気乗りしなかった舞台にも立つ決心をするが……。 「チャップリンの独裁者」から戦後第1作目の「チャップリンの殺人狂時代」を通して“アカ”呼ばわりされ、非米活動委員会の追及、議会の国外追放提案やマスコミの攻撃などを浴びたチャップリンが、第二の故郷ともいべき住み慣れたアメリカを捨てて、母国イギリスに戻って発表した作品。落ち目の道化師と美しいバレリーナとのひめたる恋、懐かしい舞台に振り返り咲き喝采を浴びながら熱演の果ての彼の死など、さながらチャップリン自身の心境を語るかのような印象が強い、晩年の傑作。

【クレジット】

| | | |
|-----|----------------|-------------------|
| 監督 | チャールズ・チャップリン | Charles Chaplin |
| 製作 | チャールズ・チャップリン | Charles Chaplin |
| 脚本 | チャールズ・チャップリン | Charles Chaplin |
| 撮影 | カール・ストラス | Karl Struss |
| 音楽 | チャールズ・チャップリン | Charles Chaplin |
| | ラリー・ラッセル | Larry Russell |
| | レイモンド・ラッシュ | Raymond Rasch |
| 助監督 | ロバート・アルドリッチ | Robert Aldrich |
| 出演 | チャールズ・チャップリン | Charles Chaplin |
| | クレア・ブルーム | Claire Bloom |
| | バスター・キートン | Buster Keaton |
| | シドニー・チャップリン | Sydney Chaplin |
| | ジェラルディン・チャップリン | Geraldine Chaplin |
| | エドナ・パーヴィアンス | Edna Purviance |